

令和5年度 静岡大学人文社会科学部
総合型選抜試験問題

経済学科
[聴講・論述試験]

令和4年10月8日(土)
10時00分～11時50分
(※聴講時間を含みます)

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題冊子・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題用紙（この表紙を除く）・・・1枚
解答用紙・・・2枚
下書用紙・・・2枚

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 句点と読点はそれぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。
数字例：123であれば、「12」と「3」で二マス使用。
英字例：abcであれば、「ab」と「c」で二マス使用。

令和5年度 総合型選抜入試（経済学科）
聴講・論述試験

本日の講義をもとに、以下の設問に答えなさい。

問1. 近年、ダイナミック・プライシングを導入するケースが増えているのはなぜか。講義内容に即して300字以内で説明しなさい。(配点40%)

問2. ダイナミック・プライシングを導入する上で注意すべきことは何か。講義内容に即して500字以内で説明しなさい。(配点60%)

令和5年度 静岡大学人文社会科学部
総合型選抜試験問題

経済学科
[聴講・論述試験]

令和4年10月8日(土)

講義資料 18枚 (この表紙を除く)

※この講義資料は授業終了後、回収します。

内容は省略

採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目名	聴講・論述試験（総合型選抜【専門学科及び総合学科枠】：令和5年度）
対象学部・ 学科（課程）等	人文社会科学部 経済学科
出題のねらい	<p>聴講をもとにした論述形式により，講義内容に対する理解度と論理展開能力を判断することが，出題の主なねらいである。本学科の総合型選抜入試では，受験資格者が専門高校生であることから，一般入試の受験者とは異なる出題を実施している。入学後に大学の授業に対応できるだけの能力を有しているかが，一つの評価基準となる。</p> <p>今回の講義は「ダイナミック・プライシングについて」をタイトルに，価格に関する最近の動き，ダイナミック・プライシングの定義およびダイナミック・プライシング導入のメリットと問題点について解説している。この講義を聴講して，その内容を理解し，課題を発見し，さらに問題解決能力がどの程度備わっているのかについて，評価を行う。</p>
採点基準	<p>問1 ダイナミック・プライシングを導入するケースが増えている背景を問う問題である。なぜダイナミック・プライシングを導入するのかについて，講義中で取り上げられたメリット，とりわけAIの活用による需要予測と最適価格の設定について理解し，説明できているのが評価の基準となる。（配点40%）</p> <p>問2 ダイナミック・プライシングを導入する際に注意すべき点を問う問題である。消費者の価格評価メカニズムと価格に対する公平感という2つの観点から記述できているかが評価の基準となる。また，価格評価メカニズムでは参照価格および参照価格の更新について触れているかどうか評価のポイントになる。（配点60%）</p>